

2021年11月11日

SUBARU が初めてグローバルに展開する BEV、「SOLTERRA」を発表

～SUBARUらしい SUV を BEV で実現～

SUBARU は本日 2021 年 11 月 11 日に、新型 BEV*1「SOLTERRA(ソルテラ)」を世界初公開しました。



新型 BEV ソルテラ(プロトタイプ)

*1: Battery Electric Vehicle(電気自動車)

SUBARU が初めてグローバルに展開する BEV として「ソルテラ」を開発するにあたって目指したのは、今後 SUBARU が生み出す BEV の礎として、今、BEV に求められるさまざまな期待を上回り、安心して選んでもらえる実用性を持ったクルマをつくること。同時に、SUBARU の SUV として、SUBARU に乗り慣れたお客様にも「これは紛れもなく SUBARU だ」と感じてもらえるクルマであることです。

「ソルテラ」は、BEV ならではの新しい価値や、私たちが長年にわたって大切に培ってきた「安心と愉しさ」という SUBARU ならではの価値を詰め込むことで、地球環境に配慮しながらも、これまでの SUBARU の SUV ラインナップと同様に安心して使えるクルマに仕上げました。

「ソルテラ」の車両概要は、以下の通りです。

◇ エクステリア・インテリア

- エクステリアは、シームレスな造形のヘキサゴングリルで BEV らしいエネルギー効率の良さを表現しました。そのグリルから始まる水平軸が通ったボディ、そして内側から張り出したダイナミックなフェンダーが、SUV らしい力強さを主張します。
- インテリアは、高さを抑えたインパネ造形と、ステアリングホイールの上から見るインパネ上部に配置したトップマウントメーター(SUBARU 初採用)で、開放的な空間を実現しています。

◇ e-SUBARU Global Platform

- これまで高い評価を頂いている Subaru Global Platform で培った知見を活かし、BEV 専用プラットフォームとしてトヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ)と e-Subaru Global Platform を共同開発しました。e-Subaru Global Platform は、操縦安定性が高く、ドライバーのステアリング操作に対してリニアに反応する、SUBARU らしい動的質感の高い走りを実現します。

- また、BEV ならではの構造として、車体下部に大容量バッテリーを搭載し、そのバッテリーを骨格の一部としても活用することで、低い重心高と、高いボディ強度・剛性を実現しています。

◇ 走行性能・AWD(全輪駆動)システム

- BEV ならではの AWD システムとして、前輪と後輪をそれぞれ別のモーターで駆動する新システムを採用しました。SUBARU が長年蓄積してきた 4 つのタイヤを緻密に制御する技術と、モーターだから可能になった高い応答性や自在な前後駆動力配分を活かし、4 輪のグリップ力を最大限に使った安心感の高い走りを実現します。
- また、従来の SUBARU SUV モデルと同様に、悪路での安心感を高める X-MODE を採用しました。新たに、悪路でも車両を安定させながら一定速度での走行を可能にする Grip Control を追加することで、走破性をさらに強化しています。

◇ 安全性

- ボディ各部位の骨格形状の工夫や材料強度の最適化により、軽量化と、高い衝突安全性能の両立を実現しました。
- 万が一の衝突の際は、複数のボディ骨格に荷重をスムーズに伝達する構造で効率的に衝突エネルギーを吸収。乗員を守ることはもちろん、高い安全性が求められる BEV 特有の高電圧機器もしっかり保護します。

車両の詳細については、SUBARU オフィシャル Web サイト内のソルテラ特設ページをご覧ください。

<SUBARU オフィシャル Web サイト ソルテラ特設ページ>

<https://www.subaru.jp/solterra/solterra/>

「ソルテラ」は、「笑顔をつくる会社」をありたい姿に掲げる SUBARU が、地球温暖化や気候変動という課題に向き合い、将来に渡って笑顔をつくり続けていくための、重要な一歩を担います。

そして、2019 年 9 月に新たな業務資本提携を結んだトヨタと SUBARU が、「もっといいクルマつくろう」を合言葉に、互いに強みとする技術や知見を持ち寄り、両社のエンジニアが切磋琢磨しながら共同開発したクルマです。

新型 BEV「ソルテラ」は、2022 年年央までに日本、米国・カナダ、欧州、中国等に導入を開始する予定です。

【ソルテラの主な諸元(日本仕様、社内測定値)】

		FWD車	AWD車
全長×全幅×全高 (mm)		4,690×1,860×1,650	
室内長 (mm)		1,940	
室内幅 (mm)		1,515	
室内高 (mm)		1,160 (ノーマル/ソーラールーフ仕様) 1,145 (ガラスルーフ仕様)	
乗車定員 (人)		5	
ホイールベース (mm)		2,850	
最小回転半径 (m)		5.7	
最低地上高 (mm)		210	
車両重量 (kg)		1,930～	2,020～
車両総重量 (kg)		2,205～	2,295～
一充電走行距離 (WLTCモード、日本国内向け基準) (km)		530前後	460前後
モーター	種類	交流同期電動機	
	最大出力 (フロント) (kW)	150	80
	最大出力 (リヤ) (kW)	-	80
	最大出力 (システム) (kW)	150	160
動力用電池	種類	リチウムイオン電池	
	総電力量 (kWh)	71.4	
	総電圧 (V)	355	
	AC充電器最大出力 (kW)	6.6	
DC充電器最大出力 (kW)		最大 150	
ステアリング		ラック平行式電動パワーステアリング	
サスペンション形式 [前/後]		ストラット式コイルスプリング/ダブルウィッシュボーン式コイルスプリング	
ブレーキ [前/後]		ベンチレーテッドディスク/ベンチレーテッドディスク	
駆動方式		前輪駆動方式	全輪駆動方式
ホイール		18インチホイール	18インチホイール 20インチホイール
タイヤサイズ		235/60R18	235/60R18 235/50R20